

2019 年度第 3 回愛知県子ども・子育て会議 議事録

1 日時

2019 年 12 月 17 日（火）午前 10 時から

2 場所

愛知県庁本庁舎 6 階 正庁

3 出席者

委員 21 名中 18 名

（出席委員）

石川治代委員、伊東世光委員、伊奈希依子委員、加納美加委員、後藤澄江委員、
榊原輝重委員、清水美里委員、杉浦ますみ委員、都築昭彦委員、中井恵美委員、
中川英治委員、菝澤仁実委員、東村誠委員、 福上道則委員、松岡明範委員、
水野真由委員、山本理絵委員、横山茂美委員

（事務局）

少子化対策監、地域福祉課長、児童家庭課長、子育て支援課長 ほか

4 議事録

（後藤会長）

次第に従いまして議事を進めて参ります。

「あいち はぐみんプラン 2020-2024（仮称）」の素案について、事務局から御説明を
お願いいたします。

（事務局）

「あいち はぐみんプラン 2020-2024（仮称）」の素案について説明

（後藤会長）

それでは時間をとりまして、御説明いただきました素案につきまして、皆様から御意
見賜りたいと思います。

(東村委員)

「キャリア教育の推進」の、目標についてです。

インターンシップの質について目標とすることは困難であると説明がありました。確かに、個々のキャリア教育のレベル達成といった目標は困難と思います。しかし、インターンシップのより良い活動という観点では、参加した生徒や受け入れた企業の満足度など、数値化できるものがあると思います。次期計画にインターンシップについての目標をとということではありませんが、そういった観点で、今後検討していただくと良いのかなと思います。

(都築委員)

「児童虐待防止対策の推進」の、リーフレットによる虐待防止啓発についてです。

一年生には入学時に配布していると思いますが、そのことを記載しているということで良いでしょうか。

(事務局)

キャリア教育の推進について、御意見を踏まえまして再度検討させていただきます。

児童虐待防止対策の推進について、委員から御指摘のとおり、リーフレットの配布は新一年生を対象として取り組むことを指して記載しております。

(都築委員)

子ども自身に教育をしていきたいということ、子ども自らが気づき声を上げられるようにという意図で、第2回会議の際に義務教育期間中の児童虐待防止啓発について意見をしました。学年を新一年生に限らず、高学年や中学生にも配布すると、より良いと思います。

(事務局)

御指摘の通りだと思います。

今年度作成しております、新一年生向けリーフレットにつきましては、子どもでもわかるリーフレットを作成していきたいと思っております。また、御指摘いただきました点につきましては検討させていただきます。

(伊東委員)

「保育の受け皿拡充と保育人材の確保」の、幼児教育・保育の無償化についてです。素案の取組の方向性に、「幼児教育・保育の無償化を踏まえた」と記載があります。長時間保育を利用しても無償であることから、開所時間と保育時間が同じという誤った解釈が保護者の中で広がっていると感じています。第2回会議で「子ども目線では、保護者と一緒にいる時間が長い方が良い」という意見があったように、保育が長時間化することは子どもにとって良くないと思いますので、「適切な対応」などの表現が入ると良いと思います。

(事務局)

幼児教育・保育の無償化については、御指摘の他、保育人材の量や質の確保の問題がありますので、記載方法も含め再度検討させていただきます。

(中井委員)

「障害のある子どもへの支援」の、乳児期の支援についてです。障害のある子どもをもつ保護者は、障害が発覚する前から、子どもに対して育てにくさや遊び場に行きにくいといった孤立などを感じており、それが虐待や鬱になる可能性が高くなるというデータもあります。乳児期の子どもに障害があるかわからないけれども、育てにくさなどを感じている家庭への支援についても、取り組んでいただきたいと思います。

(事務局)

発達段階に応じたよりきめ細かい取組について、再度検討させていただきます。

(東村委員)

「目標」全般についてです。2024年度の目標が、「増加」や「上昇」という表現が多く感じます。数値を出しにくいということもあると思いますが、5年計画なので、少しでも上昇したら達成というのでは物足りないと思います。例えば、全国平均や、優れた都道府県があればそこを目指すなど、検討いただきたいと思います。

(事務局)

目標につきましては当初「数値目標」として検討をさせていただきました。しかし、具体的な数値を入れにくい項目もあり、増加や上昇と記載し「目標」とさせていただきました。引き続き具体的な数字が記載できるか検討させていただきます。

(松岡委員)

「保育の受け皿拡充と保育人材の確保」の、幼稚園についてです。

保育人材に限らず、幼稚園で働く幼稚園教諭についても、量や質の確保が求められていることについて認識していただきたいです。

また、幼児教育・保育の無償化を受けて、幼稚園においても長時間利用の需要が増えており、更なる預かり保育の充実が求められています。預かり保育に関する目標や取組について記載すると良いと思います。

(事務局)

保育士と記載されている取組について、保育教諭や幼稚園教諭も対象となる場合は、保育士等と記載を改めさせていただきます。

また、幼稚園の預かり保育について、市町村が今年度策定する子ども・子育て支援事業計画において需要の把握に努めており、引き続き記載について検討させていただきます。

(福上委員)

「多様な保育サービス、児童の放課後対策の拡充」の、保育現場での日本語教育についてです。

私が園長を勤める園では、外国人の子どもが9割以上を占めています。外国人の子どもが増えてきている中、県として幼児期の日本語教育についての考えをお聞かせください。

(事務局)

幼児期の日本語教育につきましては、プレスクールや多文化子育てサロンなどで支援をしております。また、保育の現場では通訳を雇用した際の支援もしております。

(後藤会長)

愛知県の場合は外国人の多い地域になるので、先駆的に取り組んでいただけたらと思います。

(石川委員)

「保育の受け皿拡充と保育人材の確保」の、待機児童解消についてです。

2024年までの待機児童の解消を目標として掲げられていますが、女性にとって、安心して働けるようになり、とても良いと思います。しかし、女性が働くことで、子どもと離れる時間が長くなるので、家族との時間を大切に過ごしていただきたいという願いがあり、パンフレットやチラシなどで啓発できると良いなと思います。

「青少年の育成」の、ネット依存についてです。

子どもにネットを見せると大人しくなることがあることから、乳幼児に対しネットを見せる保護者がいます。乳幼児への悪影響について保護者にお知らせするような取組があると良いと思います。

(榊原委員)

「目標」全般についてです。

目標を全市町村と記載している項目が多々ありますが、県内に何市町村あるかわからない人もいます。どれぐらいの割合で進んでいて、まだまだ足りないなということがわかる記載にした方がわかりやすいと思いましたので、検討をお願いします。

(横山委員)

「社会的養育の体制整備」の、里親等の委託についてです。

養育里親が増えるよう日頃より啓発をしています。今年度から里親サポーター制度が導入され、サポーター登録者が増えており、里親等の委託率の上昇につながると良いなと思っております。

また、定年を迎えた60歳以上の養育里親の増加が、養育里親全体の増加に繋がるとは思っていますが、その年代の人は社会に出て啓発の場にお見えにならないこともあるので、何か取組があれば良いなと思います。

(都築委員)

「安心できるまちづくりの推進」のBCP（事業継続計画）についてです。

BCPについて整えていこうという大きな流れを感じています。福祉避難所においても、BCPを策定していない場合、大災害になった時にライフラインが全部止まり、機能しない可能性がありますので、より啓発に取り組んでいただきたいと思います。

(事務局)

愛知県社会福祉協議会等、関係機関と連絡、連携しながら、引き続き検討させていただきます。

(加納委員)

「働き方改革とワーク・ライフ・バランスの推進」の、男性の育児休業の取得についてです。

働く女性も増えており、子育ては夫婦共同でという、流れになってきています。男性の育児休業の取得率を上げることに賛同しますが、取得日数についても把握し、参考にすると良いと思います。

(事務局)

御意見を参考にさせていただきたいと思います。

(榊原委員)

加納委員と同様、取得日数について把握できれば、将来的な推計もすることができ、良いと思います。

(後藤会長)

皆様、貴重な御意見ありがとうございました。

次に、次第4「その他」について、事務局からお願いします。

(事務局)

今後のスケジュールについて説明

(後藤会長)

それでは、山本副会長から御意見をお願いいたします。

(山本副会長)

皆様の御協力で、計画が練り上げられてきたことにとても感謝しております。

今後この計画を実際に進めるにあたり、各市町村、地域で行われている先進的な事例や、需要を十分吸い上げるような仕組みを、ぜひご検討いただければと思います。

(後藤会長)

それではこれで会議を終了したいと思います。委員の皆様には大変貴重なご意見を賜りありがとうございました。事務局には、本日の会議の意見を踏まえて、今後に生かしていただきたいと思います。

それでは議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(事務局)

長時間にわたり、議論いただきまして、ありがとうございました。

本日の議事録につきましては、後日、発言された方に内容を御確認いただき、議事録署名人2人の御署名の上、ホームページに掲載いたします。

それでは、これをもちまして、2019年度第3回愛知県子ども・子育て会議を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

議事録署名人

議事録署名人